

News Release

最大2割増し※で広がる家族葬に対応、宮崎市内22店舗目『ファミリー大坪ホール』12/4(金)オープン

※当社調べ(参照:(株)きずなホールディングス「月次情報」2020年11月発表)

株式会社家族葬のファミリー(本社:東京都港区、代表取締役:中道康彰)は、グループ累計90店舗目となる家族葬ホール「家族葬のファミリー大坪ホール(宮崎県宮崎市)」を2020年12月4日(金)にオープンします。

近年のお葬式で、全国的に需要の高まっている「家族葬」の専用葬儀場です。当社は、家族葬を手掛けて20年の葬儀社であり、新ホールは市内22店舗目の直営施設となります。この新店で大坪・花山手エリアは4店舗体制になり、より生活者のお近くで“地域いちばんの家族葬”を提供してまいります。

12月4日(金)～6日(日)には、新ホールのお披露目としてオープニング特別企画の見学会や相談会を行います。

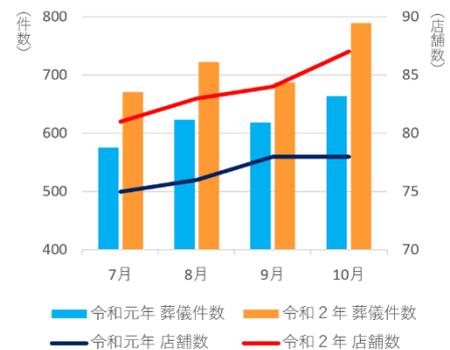


特別企画で見学相談会を開催します。取材をご希望の方は広報事務局までお問い合わせください。

■ 令和2年7月以降、家族葬件数は2桁成長。全国に広がる“小規模葬”

コロナ禍でさまざまな生活様式が変化している令和2年は、県外への移動制限・三密回避などの影響で、葬儀の小規模化が顕著です。比較的小規模な葬儀「家族葬」を扱う当社の葬儀件数は10期以上連続で増加しています。直近4カ月は前年同月比で、7月116.5%、8月115.9%、9月111.2%、10月118.8%、と2桁成長です。店舗数もこの間に1割程度増加していますが、件数の伸びの方が高く、着実に家族葬が全国に浸透していると考えられます。参照:(株)きずなホールディングス「月次情報」2020年11月発表

<https://www.kizuna-hd.co.jp/ir/monthly>



■ 家族の様子に目が配れる平屋造りで「1日1組」限定のセレモニーホール

家族葬需要に応じてオープンする「家族葬のファミリー大坪ホール」は、宮崎市の中心部から清武方面に抜けるバイパス・国道269号線沿いにあります。大坪町交差点に面した視認性の良い立地にあり、極少数のご家族から30名規模の家族葬まで対応できる平屋造りの家族葬ホールです。

建物外観はナチュラルな石材系の意匠で面を構成したデザインが特徴。建物内部の家族控室には琉球畳とアクセントの飾り棚があり、ちょっとした高級旅館を思わせる造りです。壁の少ない開放的な式場・会食空間は、故人様と家族の距離を隔てることなく、また、どこにいても家族の様子に目が配れます。

「家族葬」は、多くの参列者が集う儀礼儀式とは異なり、ご家族や親しい人たちと比較的自由な形で見送るお葬式です。当社の家族葬ホールは適度に小規模で、自宅のようにくつろげることをコンセプトとしています。また、他の誰にも気兼ねせずに過ごせる「1日1組」の貸切です。最期の時までそのご家族ならではの過ごし方ができます。

■ 自宅葬から一般葬、そして家族葬へ。葬儀の形は常に社会の変化を映し出してきた

葬儀の形はその時々の世相や家族のあり方を映ししながら、進化を続けています。戦後主流であった自宅葬は一般葬に置き換わり、現在は家族葬へのシフトが進んでいます。(下表参照)

◇ 葬儀形式の変遷、その時代背景

時代	主流の葬儀形式	葬儀の概要と時代背景
戦後～昭和中期	自宅葬	通夜・葬儀・告別式を含めて、自宅で行うお葬式。場合によっては寝ずに儀式の全てを取り仕切るため、遺族の負担が大きい。一億総中流化・核家族化・女性の社会進出などで激減。
昭和後期～平成	一般葬	専用の葬祭場で行われ、多くの参列者が訪れるお葬式。産業構造の変化や都市部への人口流入が進み、葬儀には親類縁者・近隣住民のみでなく、会社関係者などが多く参列するように。それに合わせて大規模な葬祭会館も全国に数多く建設された。
平成終盤～令和	家族葬	家族と親しい人で行う比較的小規模で自由度の高いお葬式。平均寿命の伸長等を背景に都心部を中心に広がっていたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により、全国的に普及が加速。

大切な家族を長らく暮らした愛着のある場所から旅立たせてあげたい。しかし、昔ながらの自宅葬は家族等の負担が大きく難しい……。老老介護ならぬ“老老葬儀”も増える中、生活圏内における手頃な家族葬ホールの存在は、地域住民の安心感につながるものと考えます。家族葬のファミリーは、宮崎市に所縁のある方々の旅立ちをお手伝いし、市が掲げる「活力と緑あふれる太陽都市・・・みやざき」の次世代につながりまことに貢献してまいります。

■ 高齢化が進む宮崎市のエリア内事情 75歳以上人口 55,073人。20年前から倍増

宮崎市の75歳以上の後期高齢者の人口比率は全国平均の14.9%は下回るものの、20年前の19,762人(市内人口比6.5%)から55,073人(同13.7%)へ人数、人口比率共に倍増しています(当社調べ)。

ファミリーの宮崎支社の葬儀実績は1,493件(2020年5月期)と、1年間で前年比12.7%増加しております。さらに増えつつあるご高齢の皆様をサポートし、よりお近くで地域に密着したご葬儀を執り行うために、10月の「旭別館」、11月の「恒久ホール」に続く、3カ月連続での出店となります。これからは細やかに出店計画を進め、安心して頼れる「地域いちばんの家族葬」をご提供し続けてまいります。

参考：宮崎市HP 人口・世帯数の推移(年1回集計_推計人口)より

<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/city/statistics/population/1069.html>

■ 店舗概要

- 店舗名 : 家族葬のファミリー大坪ホール
 オープン日 : 2020年12月4日(金)
 住所 : 宮崎市大坪東3丁目20番12号
 アクセス : ・宮崎IC・宮崎空港から車で約15分
 ・JR日豊本線・日南線 「南宮崎駅」から車で約5分
 ・宮崎交通バス「江南病院前」バス停から徒歩3分
 駐車場 : 15台
 建物構造 : 木造平屋建
 敷地面積 : 828.73㎡ 建築面積 : 182.3㎡
 施設内容 : ホール30席、遺族控室(和室×2)など
 電話番号 : 0120-365-024



■ オープニングイベント(来館プレゼントあり)

- ・「特別ご見学・ご相談会」 12月4日(金)～6日(日) ※1日あたり30組(事前予約制)
- ・「家族葬セミナー」 12月6日(日) 15:00～ 12月12日(土) 11:00～ ※各日10名(事前予約制)

■ 家族葬の専門葬儀社として設立 20 周年。3 月に親会社（持株会社）が上場。

家族葬のファミリーは、2000 年に第 1 号の家族葬ホールを出店し、今年（2020 年）で設立 20 周年を迎えました。当初から「家族葬」をブランド化し、家族の絆が深まるご葬儀を提供し続けています。直営ホールのみならず、全国にある 1,000 箇所のお斎場で 10 万件以上のご葬儀実績があります。

直営ホールは、1 号店の出店から現在（10 月末）までに撤退した店舗はありません。これにより、顧客への葬儀サービスの安定供給と地域雇用に寄与しています。

事業の成長力を認められ、今年 3 月には親会社（持株会社）の「きずなホールディングス」が東証マザーズに上場しました。7,000 社以上あるとされる葬儀社で 5 社目の上場企業です。

将来的には、47 都道府県への出店と葬儀サービスの提供を目指しています。

■会社概要

株式会社家族葬のファミリー

- 【設立】 2000 年 7 月
- 【代表】 代表取締役 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6431（代表）／FAX 03-5427-6433（代表）
- 【従業員】 441 名(2020 年 5 月末日時点、出向者を除き、パート・契約社員・派遣社員含む)
- 【資本金】 100,000,000 円
- 【売上高】 7,875 百万円（2020 年 5 月期）
- 【事業内容】 ・葬儀葬祭に関する一切の業務
・フランチャイズシステムによる葬儀葬祭事業の展開
・「お葬式を家族のものに」のローガンのもと、
1 日 1 組限定の「家族葬のファミリー」及び邸宅型家族葬の「弔家の灯」を提供
・これまでの葬儀の価値観にない「家族の意向を汲んだ、家族のための家族葬」を提供
- 【URL】 <https://www.famille-kazokusou.com/>

株式会社きずなホールディングス

- 【設立】 2017 年 6 月
- 【代表】 代表取締役社長 兼 グループ CEO 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6432
- 【従業員】 505 名（グループ連結、2020 年 5 月末日時点、臨時雇用者含む）
- 【資本金】 153,360,000 円（2020 年 5 月 31 日現在）
- 【証券コード】 東京証券取引所マザーズ市場 7086
- 【売上高】 7,676 百万円（グループ連結、2020 年 5 月期 IFRS 基準）
- 【事業内容】 ・グループ全体の経営戦略に関する立案、推進ならびに管理
・葬儀葬祭に関する一切の業務
- 【URL】 <https://www.kizuna-hd.co.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

家族葬のファミリー 広報事務局

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 小室（携帯 : 090-5537-8309）、杉村（携帯 : 070-1389-0175）